

## 2016年度第10回 J A北海道厚生連 帯広厚生病院倫理審査委員会 会議の記録概要

倫理審査委員会 事務局

|                     |  |
|---------------------|--|
| 開催日時                | 2017年1月5日（木） 18:00 ～ 19:00   |
| 開催場所                | J A北海道厚生連帯広厚生病院 西棟2階 事務会議室2  |
| 出席委員名               | 佐澤 陽「委員長」、高村 圭、秋川 和聖、保前 英希、山内 英智、小森 均、木村 和善、加藤 広美、中島 悠雄、北村 延夫、岡崎 まゆみ   |
| 委員数                 | 出席委員数：11名／全委員数：11名   |
| 審議課題：審議結果を含む主な議論の概要 |  |
| 研究課題番号              | 2016-058   |
| 審議案件名               | 関節リウマチに対するアバタセプトの効果の検討（研究計画の軽微な追加・変更）  |
| 実施責任者               | 消化器内科 医長 深谷 進司   |
| 審議内容                | 【迅速審査】平成26年8月26日付けで審議を行い既に承認済の案件について、研究責任者及び研究施設が追加変更となったことから研究計画書、説明文書が改定となった。資料に沿って委員長より説明され、研究実施の妥当性について迅速審査を行い平成28年12月28日付けで承認とした。 |
| 審議結果                | 承認   |
| 研究課題番号              | 2016-059   |
| 審議案件名               | 症例報告「Palisaded Neutrophilic and Granulomatous Dermatitis as a Novel Cause of Hypercalcemia: A Case Report」の論文投稿について                    |
| 実施責任者               | 消化器内科 河野 通仁  |
| 審議内容                | 【迅速審査】研究に関する背景や評価項目、安全性情報等の報告を行った。資料に沿って委員長より説明され、研究実施の継続性について迅速審査を行い平成28年12月28日付けで承認とした。  |
| 審議結果                | 承認   |
| 研究課題番号              | 2016-060   |
| 審議案件名               | 全身性血管炎症候群に対する間歇静注シクロフォスファミド療法(IVCY)の安全性に関する研究  |
| 実施責任者               | 消化器内科 医長 深谷 進司   |
| 審議内容                | 新規に研究計画申請された当該課題について、実施責任者より研究の概要、事前審査における対応について説明された。実施責任者に当該研究におけるデータ収集項目や対象人数などの質問や意見に対する回答を確認し、それらを踏まえて、研究実施の妥当性について審議した。          |
| 審議結果                | 承認   |

|        |  |
|--------|--|
| 研究課題番号 | 2016-061   |
| 審議案件名  | ステロイド性骨粗鬆症を合併する関節リウマチ患者を対象としたSodiumu<br>risedronateの骨密度に対する影響の検討（プラセボ対照多施設共同二重盲検比<br>較研究）  |
| 実施責任者  | 消化器内科 医長 深谷 進司   |
| 審議内容   | 新規に研究計画申請された当該課題について、実施責任者より研究の概要、事<br>前審査における対応について説明された。実施責任者に当該研究における薬剤<br>に関する質問や意見に対する回答を確認し、それらを踏まえて、研究実施の妥<br>当性について審議した。 |
| 審議結果   | 承認   |
| 研究課題番号 | 2016-062   |
| 審議案件名  | 収縮機能障害を有する心不全患者において、12誘導心電図にて測定されたQRS幅<br>及び安静心筋シンチグラフィにて測定された収縮期同期不全がリスク層別化<br>に与える影響の検討－後ろ向き観察研究－                              |
| 実施責任者  | 循環器内科 医長 土井 崇裕   |
| 審議内容   | 新規に研究計画申請された当該課題について、実施責任者より研究の概要、事<br>前審査における対応について説明された。実施責任者に当該研究における質問<br>や意見に対する回答を確認し、それらを踏まえて、研究実施の妥当性について<br>審議した。       |
| 審議結果   | 承認   |
| 研究課題番号 | 2016-063   |
| 審議案件名  | 透析患者の貧血管理における季節性変動   |
| 実施責任者  | 循環器内科 医長 小山 雅之   |
| 審議内容   | 新規に研究計画申請された当該課題について、実施責任者より研究の概要、事<br>前審査における対応について説明された。実施責任者に当該研究における質問<br>や意見に対する回答を確認し、それらを踏まえて、研究実施の妥当性について<br>審議した。       |
| 審議結果   | 承認   |
| 研究課題番号 | 2016-064   |
| 審議案件名  | 外傷後の下腿軟部欠損創に対する後脛骨動脈穿通枝プロペラ皮弁の治療成績の<br>検討  |
| 実施責任者  | 整形外科 医長 本宮 真   |
| 審議内容   | 新規に研究計画申請された当該課題について、実施責任者より研究の概要、事<br>前審査における対応について説明された。実施責任者に当該研究における質問<br>や意見に対する回答を確認し、それらを踏まえて、研究実施の妥当性について<br>審議した。       |
| 審議結果   | 承認   |

|        |  |
|--------|--|
| 研究課題番号 | 2016-065   |
| 審議案件名  | 北海道全域における完全脱臼発育性股関節形成不全症例の多施設調査研究  |
| 実施責任者  | 整形外科 医長 紺野 拓也  |
| 審議内容   | 新規に研究計画申請された当該課題について、実施責任者より研究の概要、事前審査における対応について説明された。実施責任者に当該研究における質問や意見に対する回答を確認し、それらを踏まえて、研究実施の妥当性について審議した。 |
| 審議結果   | 承認   |
| 研究課題番号 | 2016-066   |
| 審議案件名  | 神経難病患者を介護する家族の在宅移行に影響を及ぼす要因～人工呼吸器を装着した患者が自宅退院困難となった事例を振り返る～  |
| 実施責任者  | 看護部 東6病棟 上山 みさき 畠山 三羊子   |
| 審議内容   | 新規に研究計画申請された当該課題について、実施責任者より研究の概要、事前審査における対応について説明された。実施責任者に当該研究における質問や意見に対する回答を確認し、それらを踏まえて、研究実施の妥当性について審議した。 |
| 審議結果   | 承認   |